国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
Press Release

資料配付場所
１．国土交通記者会
２．国土交通省建設専門紙記者会
３．国土交通省交通運輸記者会
４．筑波研究学園都市記者会
平成２５年３月６日同時配付

平成２５年３月６日
国土技術政策総合研究所

官民連携による安全、安心で快適なドライブを支援する情報配信実験を実施 平成25年3月6日から開始 ～実験モニターの募集～

◆ 国総研と民間6社は、阪神高速道路にてドライバーの安全、安心で快適な走行をサポートする情報配信実験（プロジェクト名：「Project Z NAVI de HANSHIN!」）を本日から実施します。

◆ 「Project Z NAVI de HANSHIN!」は、ドライバーの“安全・安心”で“快適な”走行を支援するための情報をわかりやすく配信する取組みです。今回の実験で配信する情報は、阪神高速道路に関する「交通事故多発地点情報」、「分合流部における安全運転に関する情報」および「工事予定情報」の3種類です。

◆ 情報配信の効果を確認するため、ご協力いただける方を別添の実験モニター募集のお知らせや下記の本実験用ホームページを通じて募集します。

実験モニター申込み等の概要は以下のWebサイトをご覧ください。

http://navi-de-hanshin.jp

[資料]

・安全、安心で快適なドライブを支援する情報配信実験を実施
　平成25年3月6日から開始　～実験モニターの募集～　（別添１）
・情報配信実験の概要　（別添２－１）
・阪神高速SAFETYドライブの概要　（別添２－２）
・NAVI de HANSHIN 特設WEBサイト概要　（別添２－３）

問い合わせ先
○ 実証実験全般について
国土交通省 国土技術政策総合研究所
高度情報化研究センター 情報基盤研究室 研究官　今井龍一
電話029-864-4916(直)　FAX 029-864-0565

別添資料１

平成 25 年 3 月 6 日

国土交通省国土技術政策総合研究所
株式会社ゼンリン
株式会社ゼンリンデータコム
株式会社ナビタイムジャパン
一般財団法人日本デジタル道路地図協会
阪神高速道路株式会社
本田技研工業株式会社

安全、安心で快適なドライブを支援する情報配信実験を実施
平成 25 年 3 月 6 日から開始
～実験モニターの募集～

国土交通省国土技術政策総合研究所（以下、「国総研」）、株式会社ゼンリン（以下、「ゼンリン」）、株式会社ゼンリンデータコム（以下、「ZDC」）、株式会社ナビタイムジャパン（以下、「ナビタイム」）、一般財団法人日本デジタル道路地図協会（以下、「DRM 協会」）、阪神高速道路株式会社（以下、「阪神高速」）、本田技研工業株式会社（以下、「ホンダ」）（50 音順）は、平成 25 年 3 月 6 日より、阪神高速道路にて「安全、安心で快適な走行を支援する情報配信実験（プロジェクト名：Project Z NAVI de HANSHIN!）」を実施します。本実験を通じ、ドライバーの安全・安心、快適な走行をサポートする情報配信の効果、「道路の区間 ID 方式」の利用による情報流通効果を検証します。また、本実験にご協力いただける参加者（実験モニター）を随時募集します。

「Project Z NAVI de HANSHIN!」は、ドライバーの“安全・安心”で“快適な”走行を支援するための情報をわかりやすく配信する取組みです。

今回の実験では、既に全国の高速道路上でサービスを開始したITSスポット（別添資料 2-1 参照）により、カーナビゲーション等に提供している「交通事故多発地点情報」および「分合流部における安全運転に関する情報」をスマートフォンや特設 Web サイトにて配信します。また、新たに「工事予定情報」を配信します。

情報の配信は、ナビタイムが提供するスマートフォン向けのカーナビゲーションアプリケーションと、ZDC が提供する特設 Web サイトを用いて実施します（次頁図参照）。

ナビタイムが用意するスマートフォン向けのカーナビゲーションアプリケーション「阪神高速 SAFETY ドライブ」は、走行地点に関する上記情報をリアルタイムに自動配信し、安全・安心、快適な走行を支援します。

ZDC が用意する「いつも NAVI ラボ NAVI de HANSHIN 特設 Web サイト」は、上記情報を地図上に解りやすく表示し、事前の走行計画立案を支援します。

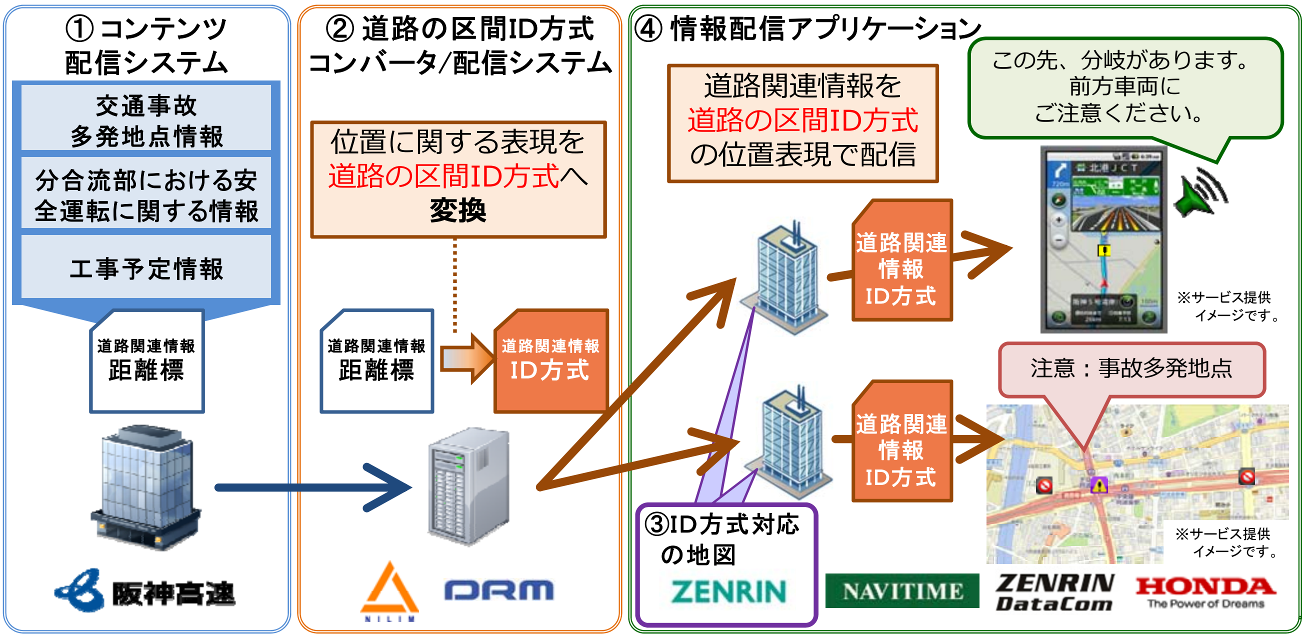
また、2 社の配信サービス（利用環境）で阪神高速の保有情報の指す位置を正確に表現できるように、本実験では道路上の位置を特定する“道路の区間 ID 方式”を採用しています。ゼンリンは、この方式に対応した地図をナビタイムおよび ZDC に提供しています（別添資料 2-1 参照）。

本サービスを有用性あるものにしていくため、本実験にご協力いただける参加者（実験モニター）を随時募集します。本サービスは無償でご利用できますが、利用後は簡単なアンケート調査にご協力ください。実験にご協力いただける方（参加希望者）は、後述の実験概要や下記の本実験用ホームページを参照して、ご参加くださいますようお願いいたします。

■本実験案内ホームページ（URL）

http://navi-de-hanshin.jp

■情報配信サービスの仕組み



■Project Z NAVI de HANSHIN！の参加組織の役割

【情報ソースの提供】
阪神高速

【情報基盤の開発・提供】
NILIM DRM

【地図調製・利用者への情報提供】
ZENRIN ZENRIN DataCom NAVITIME HONDA The Power of Dreams

※国総研、DRM 協会、阪神高速の 3 社が発起者となり、本プロジェクト参加者を公募し、民間各社との実施体制を構築しました。

■実験概要

	実験概要
実験実施期間	平成 25 年 3 月 6 日～平成 25 年 3 月 31 日
配信する情報と実施エリア	※配信する情報により実施エリアが異なりますので、ご注意ください。 ●交通事故多発地点情報 【阪神高速道路 全線（ただし、8号京都線及び32号新神戸トンネルを除く）】 ●分合流部における安全運転に関する情報 【同上】 ●工事予定情報 【阪神高速道路 1号環状線、11号池田線、14号松原線】
配信方法① <スマートフォン向けのカーナビゲーションアプリケーション>	スマートフォン向けのカーナビゲーションアプリケーション「阪神高速 SAFETY ドライブ」により情報配信を行います。詳細な配信方法は別添資料 2-2 をご覧ください。 ●参加条件 実験期間中に阪神高速道路をご利用になる予定で、実走後アンケートにご協力いただける方 ●参加費用 無償（ただし、端末は実験モニター個人が所有するものをご利用いただきたくことを想定しており、インターネット回線の契約費用、パケット通信などの費用は各自負担※） ●利用可能な端末 Android （対応端末は下記 URL でご確認ください） http://corporate.navitime.co.jp/service_jp/navitime_android.html ●参加方法 下記 URL より、登録に必要な情報を送信してください。 http://www.navitime.co.jp/hanshin_highway_authentication/index.html
配信方法② <特設 Web サイト> ※後日公開予定	「いつも NAVI ラボ NAVI de HANSHIN 特設 Web サイト」にて情報配信を行います。 詳細サービス内容は別添資料 2-3 をご覧ください。 ●参加条件 実験期間中に阪神高速道路をご利用になる予定で、実走後アンケートにご協力いただける方 ●参加費用 無償（ただし、特設 Web サイトをご覧いただくためのパソコン、インターネット回線の契約費用、パケット通信などの費用は各自負担※） ●参加方法 以下の URL から特設 Web サイトにアクセスしてください。 http://lab.its-mo.com/hanshin/ 実走後は、特設 Web サイト上からアンケートページにアクセスして、設問回答をお願いします。 ※参加にあたっての登録などは不要です。

※パソコンからインターネットに接続するためのインターネットプロバイダとの契約料金や通信料金、携帯電話からアクセスされた場合の契約費用やパケット通信料金などの費用は、ご本人様の負担となります。

【別添資料】

別添資料 2-1：情報配信実験の概要
別添資料 2-2：ナビタイムジャパンの情報配信の仕組み「阪神高速 SAFETY ドライブ」
別添資料 2-3：ゼンリンデータコムの情報配信の仕組み「いつも NAVI ラボ NAVI de HANSHIN 特設 Web サイト」

【別添2−1】 情報配信実験の概要

Project Z NAVI de HANSHIN!

実験目的

- 安全・安心で快適な走行支援に関する情報をスマートフォン向けのアプリケーションやWebサイトなどに配信し、その効果を確認する。
- 「道路の区間ID方式」および「道路基盤地図情報」を用いた上記情報の配信による各主体の様々なサービスの高度化や同方式による情報配信・重ね合わせの実現可能性などの確認する。

実施体制

- 情報ソースの配信、情報基盤の開発・配信、地図調整・利用者への情報配信に係わる計7社により実施する。

【情報ソースの配信】
阪神高速

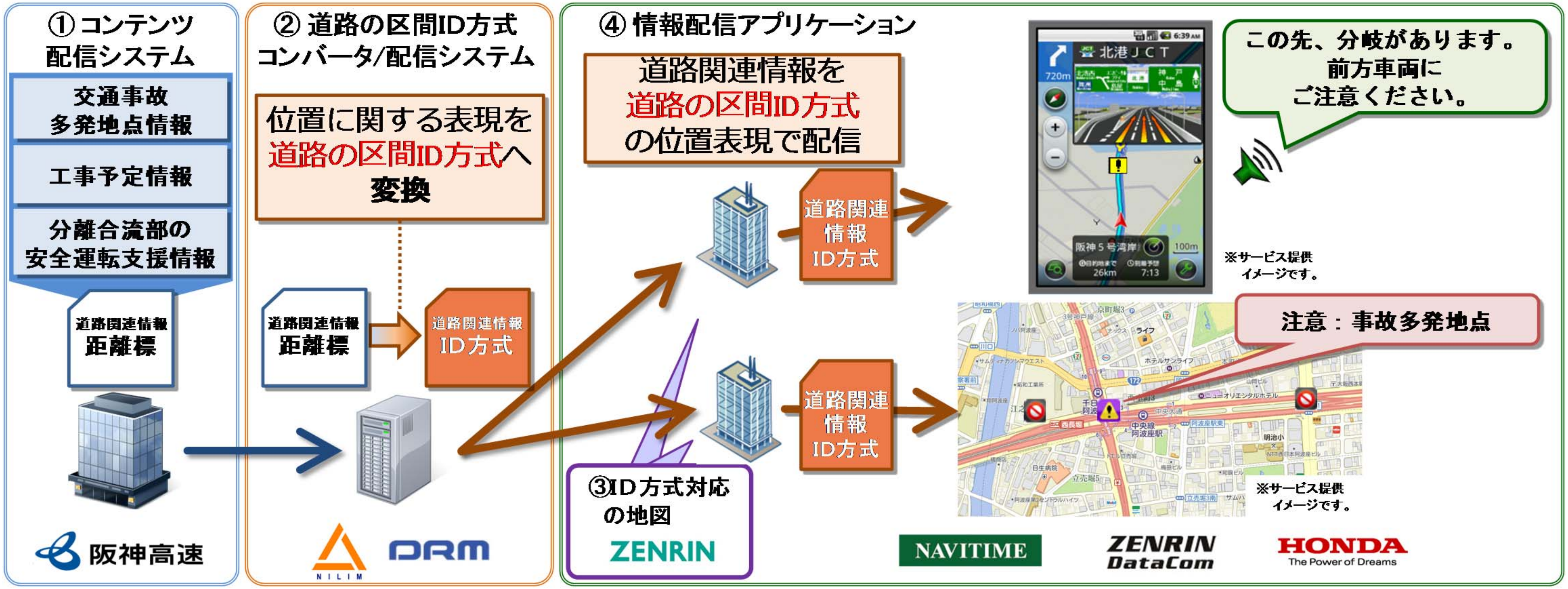
【情報基盤の開発・配信】
NILIM
DRM

【地図調製・利用者への情報配信】
ZENRIN
ZENRIN DataCom
NAVITIME
HONDA The Power of Dreams

（※）国土技術政策総合研究所、日本デジタル道路地図協会、阪神高速道路の3社が発起者となり、本プロジェクト参加者を公募し、民間各社との実験実施体制を構築しました。

平成２４年度の情報配信の仕組み

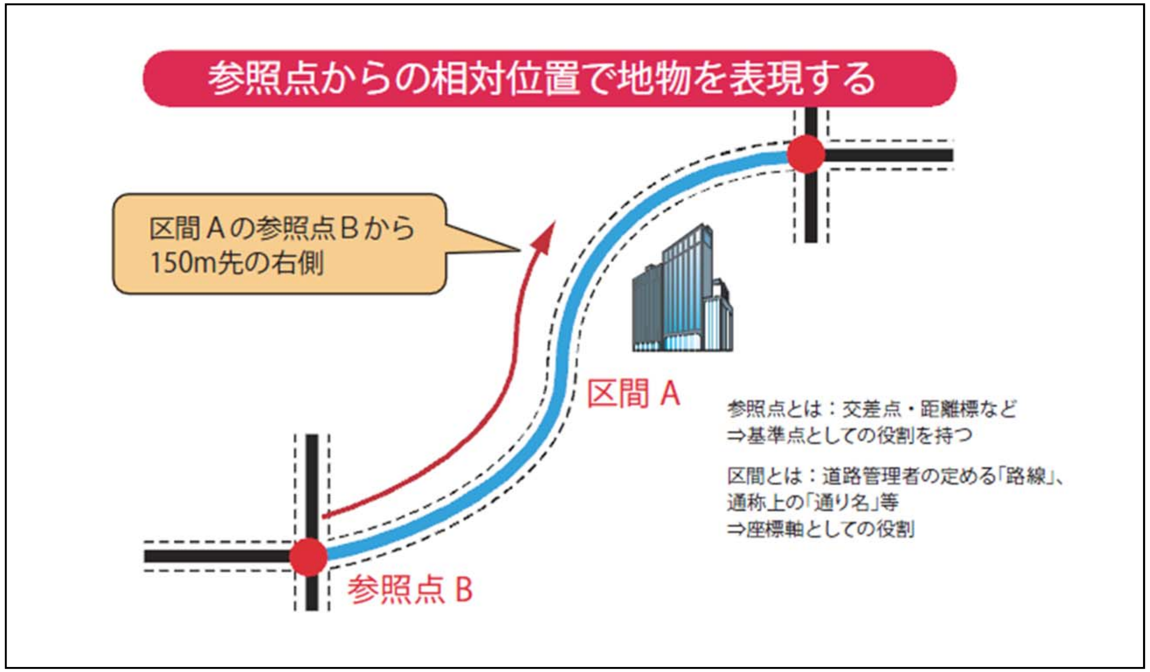
1. ①コンテンツ配信システムより阪神高速保有の「交通事故多発地点情報」、「分合流部における安全運転に関する情報」および「工事予定情報」の3種類のコンテンツ（道路関連情報）が②に配信される。
2. ②道路の区間ID方式コンバータ/配信システムにて、3種類の道路関連情報の位置に関する表現を距離標から道路の区間ID方式に変換し、④情報配信アプリケーションに配信される。
3. ④情報配信アプリケーションとして、ナビタイムジャパン開発のスマートフォン向けのカーナビゲーションアプリケーションと、 ゼンリンデータコム開発の特設Webサイトを通じて3種類の道路関連情報が道路利用者に配信される。
なお、両社が使用している③ID方式対応の地図は、ゼンリンが提供している。



道路の区間ＩＤ方式とは

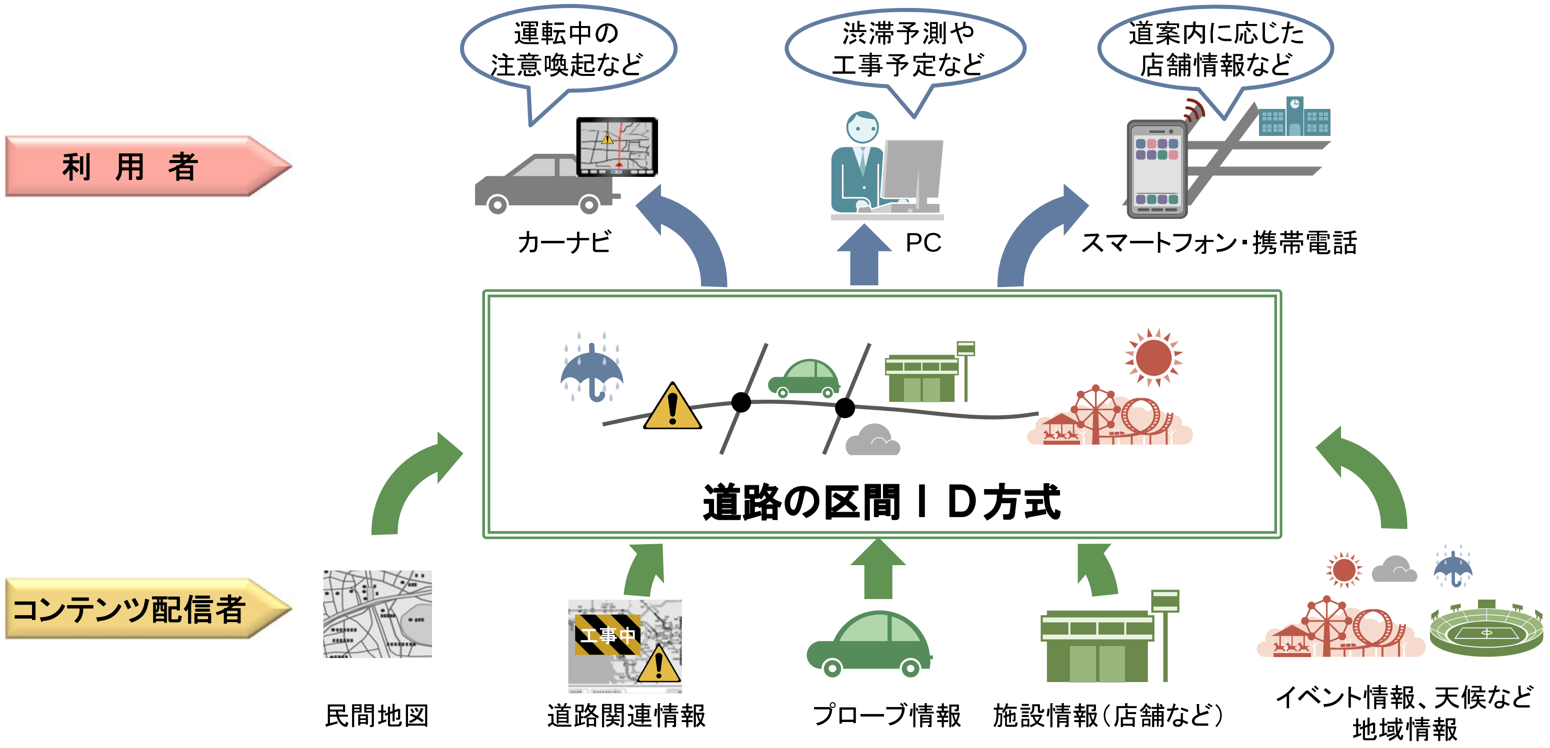
Project Z NAVI de HANSHIN!

- 本実験は、阪神高速が保有する情報をナビタイムジャパン、ゼンリンデータコムが配信するサービスで使われている地図に表現するため「道路の区間ID方式」という位置表現方式を用いている。
- これまで位置情報のやりとりは、地図を介して経緯度などでやりとりをされていたが、送り手と受け手の地図が異なると、異なる位置を示す可能性があるなどの課題がある。
- 「道路の区間ID方式」は、“区間”と“参照点”を用いて、相対的に道路上の位置を特定する方法である。そのため、異なる地図間で正確に位置情報を表現することが可能である。
- 道路の区間ID方式の詳細は、こちら
  http://www.drm.jp/etc/roadsection.html



道路の区間ID方式による表現イメージ

道路に関連する情報とその位置伝達のイメージ



「道路の区間ＩＤ方式」の普及により期待される効果

- 道路の区間ID方式を導入することで、組織や分野横断的な情報流通が実現できる。
- 道路管理やITSの他にも、不動産、観光、電力、バス運行管理や消防などへ活用も考えられ、さまざまな情報を組み合わせたサービスの展開を実現できる共通基盤である。

阪神高速による事故多発地点情報の提供

Project Z NAVI de HANSHIN!

- 阪神高速道路株式会社では、ドライバーの安全運転を支援する取り組みとして、「阪高SAFETYナビ」のサイトにより、事故多発地点情報を公開している。
- ドライバーの属性と事故の形態別に要注意地点を表示している。
- 各地点について、位置に関する詳細説明と拡大図、運転のポイントについて情報提供を行っている。
- 「阪高SAFETYナビ」のサイトは、こちら

⇒http://safetynavi.jp/map/index.html

要注意地点情報のほかに、安全運転を支援するため、運転特性の診断するコンテンツ等を提供

要注意地点の提供画面全体のイメージ

ドライバーの属性を選択

ドライバーの属性に応じた要注意地点の表示イメージ

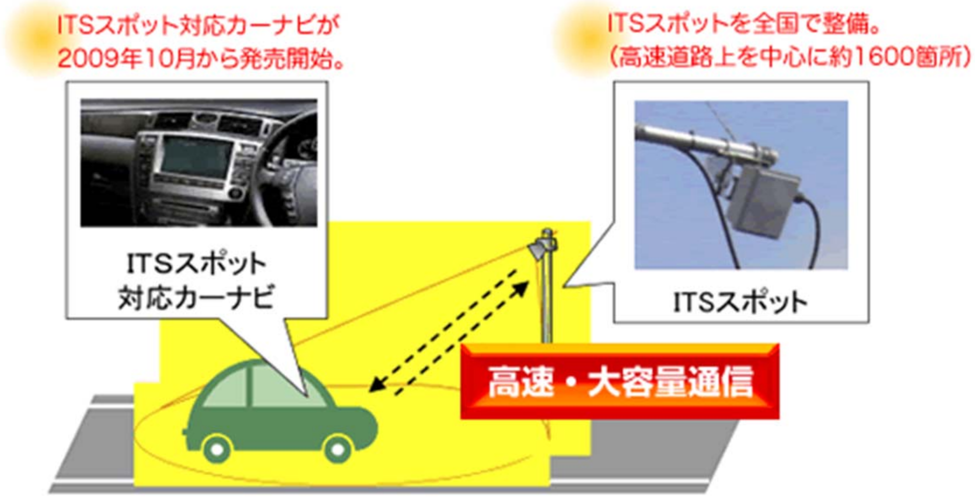
表示する事故の形態を選択

地点ごとの詳細情報の提供イメージ

ＩＴＳスポットサービスの取り組みについて

Project Z NAVI de HANSHIN!

ITSスポットサービスは、平成23年度に全国の高速道路上でサービスを開始しており、高速・大容量通信を活用して、ダイナミックルートガイダンス（広範囲の渋滞データを配信）や安全運転支援等のサービスを提供している。
阪神高速道路株式会社では、平成23年3月より同サービスの情報提供等を開始している。



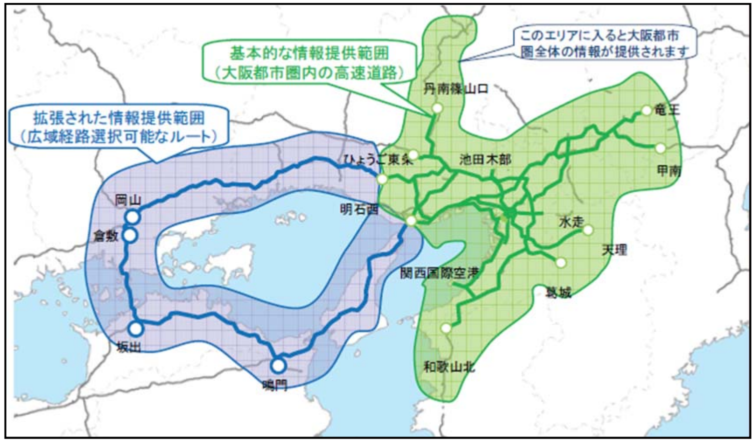
ITSスポットサービスの仕組み

ITS スポット

（参考）ITSスポットの3つの基本サービス

1. ダイナミックルートガイダンス

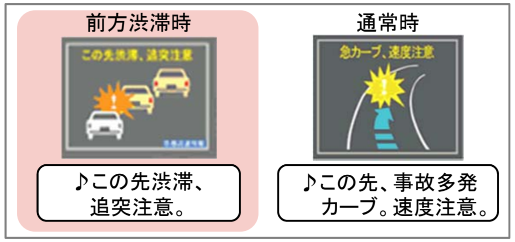
- ✓ ITSスポットから広範囲の道路交通情報を取得し、それに基づいた長距離の最適経路を案内。



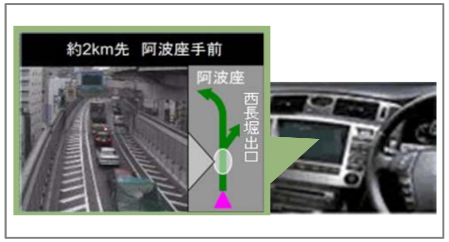
ダイナミックルートガイダンスのイメージ

2. 安全運転支援

- ✓ 落下物、<u>事故多発地点における注意喚起</u>等の情報を簡易図形、カメラ画像と音声で提供。



事故多発地点における情報提供イメージ



画像による情報提供イメージ

3. ETC

- ✓ ITSスポット対応カーナビは、ETCサービスも利用可能。

【別添資料2－2】阪神高速SAFETYドライブの概要

Project Z NAVI de HANSHIN!

サービス内容

『阪神高速SAFETYドライブ』は、スマートフォン用のカーナビゲーションアプリです。
阪神高速道路を安全に走行するための様々な注意喚起を行います。

事故多発地点情報

過去に事故が多く発生している場所を地図と音声により案内します。案内する内容を平日/休日、昼/夜間それぞれ時間帯に合わせ更新することで、より走行場面に適した注意喚起を行います。

工事予定情報

工事等による車線規制区間先頭の場所と規制されている車線を地図と音声により案内します。案内する内容を工事の状況に合わせてリアルタイムに更新します。

自然渋滞防止案内

過去に自然渋滞が多く発生している場所を地図と音声により案内します。案内する内容を平日/休日、昼/夜間それぞれの時間帯に合わせ更新することで、より走行場面に適した注意喚起を行います。

サービスの利用方法

本サービスの利用方法
下記サイトよりアプリをダウンロードしてください。
※ダウンロードにはモニター登録が必要です。

http://www.navitime.co.jp/hanshin_highway_authentication/index.html

利用環境

Android端末

実験対象エリア

※配信する情報により実施エリアが異なりますので、ご注意ください。

●事故多発地点情報
阪神高速道路 全線
（ただし、８号京都線及び32号新神戸トンネルを除く）

●自然渋滞防止案内
同上

●工事予定情報
阪神高速道路 １号環状線、11号池田線、14号松原線

【別添資料２－３】

[NAVI de HANSHIN] 特設WEBサイト概要

いつもNAVI ラボ

Project Z NAVI de HANSHIN!

サービス内容

[NAVI de HANSHIN] 特設WEBサイトは、ブラウザ用の情報提供サービスです。
阪神高速道路を利用する方の安全で快適なドライブを支援するための情報を、詳細な地図で提供します。

●交通事故多発地点情報

過去に事故が多発している場所を、曜日・時間帯を選んで表示することができます。

●工事予定情報

予定されている工事情報を表示・配信します。工事情報はリアルタイムで更新されます。

利用方法

[NAVI de HANSHIN] 特設WEBサイトは、ブラウザ環境でご利用いただけます。

URL：http://lab.its-mo.com/hanshin/

●推奨環境

・ブラウザ　Internet Explorer Ver.7以上、Google Chrome 最新バージョン、
　Firefox 最新バージョン

・OS　Microsoft Windows XP、Vista、Windows7

・メモリ　1GB 以上

・回線　ブロードバンド回線

※最新のブラウザへの対応は、若干お時間をいただく場合がございます。ご了承ください。

※スクロール地図のご利用には、JavaScriptが有効になっている必要があります。

実験対象エリア

※配信する情報により実施エリアが異なりますので、ご注意ください。

●交通事故多発地点情報

　阪神高速道路 全線

（ただし、８号京都線及び３２号新神戸トンネルを除く）

●分合流部における安全運転に関する情報

　同上

●工事予定情報

　阪神高速道路 １号環状線、１１号池田線、１４号松原線